

## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月4日

上場会社名 日本曹達株式会社  
 コード番号 4041 URL <https://www.nippon-soda.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 彰  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務グループリーダー (氏名) 竹内 哲  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3245-6053

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	103,549	2.5	3,067	58.5	4,076	4.3	2,844	1.1
2019年3月期第3四半期	101,062	2.7	1,936	40.7	3,906	27.0	2,875	16.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,256百万円 ( %) 2019年3月期第3四半期 920百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	94.26	
2019年3月期第3四半期	95.29	

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	215,643	145,316	65.9
2019年3月期	216,212	144,916	65.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 142,139百万円 2019年3月期 141,770百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		6.00		30.00	
2020年3月期		30.00			
2020年3月期(予想)				50.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期第2四半期末の1株当たり配当金については、当該株式併合前の金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した場合の2019年3月期第2四半期末の1株当たり配当金は30円となり、1株当たり年間配当金は60円となります。

2020年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当金30円 記念配当金20円(創業100周年記念配当)

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	5.0	7,000	11.5	8,300	6.6	5,800	0.0	192.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	31,127,307 株	2019年3月期	31,127,307 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	949,791 株	2019年3月期	951,112 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	30,176,904 株	2019年3月期3Q	30,180,222 株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や個人消費の改善により緩やかな景気回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦をはじめとした通商問題による海外経済の不確実性や為替の変動など、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、「中期経営計画(2018年3月期～2020年3月期)」の主題である「事業収益力の向上」と「新規事業の創出」を推進し、さらなる企業価値の向上に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、農業化学品事業において研究開発費・委託試験費が増加したものの輸出向け販売が堅調に推移したことや、建設事業におけるプラント建設工事の増加などにより、売上高は1,035億4千9百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益は30億6千7百万円(前年同期比58.5%増)となりました。

経常利益は、当社持分法適用関連会社Novus International, Inc.の減益や、為替レートが円高に推移したものの、40億7千6百万円(前年同期比4.3%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、28億4千4百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## [化学品事業]

二次電池材料の販売を開始したものの、工業薬品の減少や連結子会社Alkaline SASにおける為替レートの影響などにより、当累計期間の売上高は301億7百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

## [農業化学品事業]

除草剤が減少したものの、殺虫剤「モスピラン」の輸出向けが伸長したことなどにより、当累計期間の売上高は261億8千9百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

## [商社事業]

ウレタン原料及び無機薬品の減少により、当累計期間の売上高は265億8千2百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

## [運輸倉庫事業]

倉庫業が堅調に推移したものの、運送業が減少したことなどにより、当累計期間の売上高は31億5千6百万円(前年同期比1.7%減)となりました。

## [建設事業]

プラント建設工事の増加により、当累計期間の売上高は120億7千6百万円(前年同期比44.8%増)となりました。

## [その他]

当累計期間の売上高は54億3千6百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産や建設仮勘定が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ5億6千9百万円減少し、2,156億4千3百万円となりました。

負債につきましては、借入金が増加したものの、賞与引当金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ9億6千8百万円減少し、703億2千7百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ3億9千9百万円増加し、1,453億1千6百万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は65.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回(2019年5月10日)発表予想に変更はありません。なお、第4四半期の為替レートは1ドル=108円、1ユーロ=118円を想定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,565	17,494
受取手形及び売掛金	47,860	38,307
電子記録債権	2,795	2,503
たな卸資産	27,372	33,972
その他	4,500	4,145
貸倒引当金	△199	△191
流動資産合計	98,895	96,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,082	18,159
機械装置及び運搬具(純額)	20,264	19,190
工具、器具及び備品(純額)	1,776	1,881
土地	15,111	15,107
建設仮勘定	3,247	5,599
その他(純額)	9	743
有形固定資産合計	58,491	60,681
無形固定資産		
のれん	249	72
その他	5,527	5,010
無形固定資産合計	5,776	5,082
投資その他の資産		
投資有価証券	39,307	39,608
退職給付に係る資産	8,767	9,162
繰延税金資産	2,700	2,733
その他	2,272	2,142
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	53,048	53,647
固定資産合計	117,316	119,411
資産合計	216,212	215,643

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,933	19,388
電子記録債務	2,717	4,157
短期借入金	15,501	14,864
未払法人税等	1,258	323
賞与引当金	2,900	918
その他	6,806	5,915
流動負債合計	50,118	45,568
固定負債		
長期借入金	10,604	13,264
繰延税金負債	4,364	4,916
退職給付に係る負債	2,468	2,527
環境対策引当金	724	558
その他	3,014	3,491
固定負債合計	21,177	24,759
負債合計	71,295	70,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,166	29,166
資本剰余金	29,359	29,359
利益剰余金	80,166	81,196
自己株式	△2,250	△2,247
株主資本合計	136,441	137,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,220	7,934
繰延ヘッジ損益	△163	△135
為替換算調整勘定	△2,100	△3,702
退職給付に係る調整累計額	373	568
その他の包括利益累計額合計	5,328	4,664
非支配株主持分	3,146	3,176
純資産合計	144,916	145,316
負債純資産合計	216,212	215,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	101,062	103,549
売上原価	78,524	79,064
売上総利益	22,538	24,485
販売費及び一般管理費	20,602	21,417
営業利益	1,936	3,067
営業外収益		
受取利息	18	16
受取配当金	606	626
持分法による投資利益	1,225	523
その他	698	533
営業外収益合計	2,549	1,699
営業外費用		
支払利息	192	168
為替差損	—	154
その他	386	368
営業外費用合計	578	690
経常利益	3,906	4,076
特別利益		
固定資産売却益	7	—
特別利益合計	7	—
特別損失		
固定資産廃棄損	141	178
関係会社出資金評価損	85	—
100周年記念費用	—	48
その他	30	10
特別損失合計	257	238
税金等調整前四半期純利益	3,656	3,837
法人税、住民税及び事業税	669	871
法人税等調整額	6	59
法人税等合計	676	931
四半期純利益	2,980	2,906
非支配株主に帰属する四半期純利益	104	61
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,875	2,844

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,980	2,906
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,739	771
繰延ヘッジ損益	△149	△8
為替換算調整勘定	△150	△489
退職給付に係る調整額	142	198
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,004	△1,121
その他の包括利益合計	△3,900	△649
四半期包括利益	△920	2,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△983	2,179
非支配株主に係る四半期包括利益	62	76

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	31,326	24,703	27,758	3,212	8,342	95,343	5,719	101,062	—	101,062
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	13,524	40	3,815	1,216	3,948	22,545	2,455	25,001	△25,001	—
計	44,851	24,744	31,573	4,428	12,290	117,888	8,175	126,064	△25,001	101,062
セグメント利益 又は損失(△)	1,678	△1,899	551	349	816	1,496	330	1,826	109	1,936

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	30,107	26,189	26,582	3,156	12,076	98,113	5,436	103,549	—	103,549
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12,458	26	3,861	1,303	3,421	21,071	2,334	23,406	△23,406	—
計	42,566	26,216	30,443	4,460	15,498	119,184	7,770	126,955	△23,406	103,549
セグメント利益 又は損失(△)	1,701	△1,477	508	346	1,390	2,470	297	2,768	299	3,067

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。